

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経済学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部)

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 「入門(基礎)」、「標準」、「応用(中級)」、「発展(上級)」といった進捗度別科目の提供を視野に入れたカリキュラム体系を設置し、上位科目の履修者を増やし、KG経済学士力を高める。	→各科目(特に、上位科目)の履修者数と平均点。	D
2. 初年次導入教育の充実の一環として、学部ライフデザイン科目を設置し、5年後には1・2年生の大半が履修できるようにする。	→学部ライフデザイン科目の設置。および、その履修者数と平均点。	D
3. 経済学専門教育における英語による授業の数を、現在の0科目から5年後に2科目にする。	→英語による授業数。および、その履修者数と平均点。	D

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

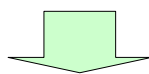
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.2.1	(方針) KG経済学士力の向上 (現状説明) 1. 進捗度別科目の提供を視野に入れたカリキュラム体系の導入は検討中である。
☆ 小項目6.2.2	(現状説明) 2. 初年次導入教育、学部ライフデザイン科目の設置は検討中である。 3. 経済学専門教育における、英語による授業は検討中である。

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



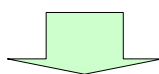
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.2.1	科目の進捗度レベルに即したコード番号化。
★小項目6.2.2	初年次導入教育の改革および英語による授業。
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.2.1	2012年度実施を目指し、学部専門教育部会で検討し、2011年度内に教授会で決定する。
★小項目6.2.2	2012年度実施を目指し、学部基礎教育部会で検討し、2011年度内に教授会で決定する。
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○進捗評価は「D」ですが、改善方策が講じられる予定なので、進展に期待します。この評価項目が前進しないのは、前項「教育課程の編成方針」が確定していないからではないでしょうか？

【学内委員】

○2009年度に設定した目標の進捗状況がいずれも「D」ですので、達成に向けた具体的な方策の策定が望まれます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★なし

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.2.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.2.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.2.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.2.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

<個別的な指標>

--	--